

11月13日のニュースで『木枯らし1号』が吹きました」とありました。「木枯らし1号」は秋から冬へと変わる時期に初めて吹く強い北風だそうです。その後、「2号、3号」とでも言いたいような強い風が吹いていますね。

風に向かいながら西に向かって帰宅する生徒が、自転車をこぎながら「**風にあらがうぞー**」と叫びました。「抗う（あらがう）」という言葉がこの場面で発出されたことがなんだかとてもうれしくて、つつい紹介したくなりました。

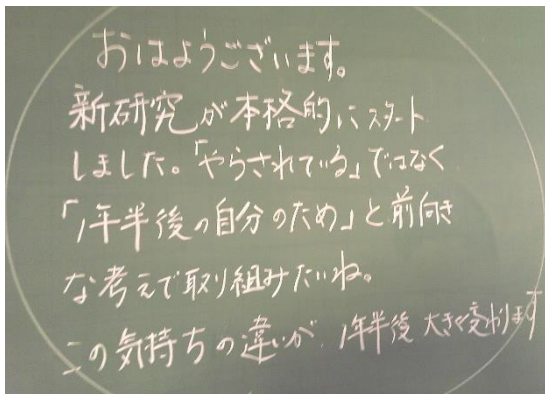


自然に対して抗うのはたいへんなことです。宮澤賢治の「雨にも負けず／風にも負けず」のように、どんな風にも負けないくらいの気持ちで、自転車をこいで家路に着いたことでしょう。

トニー駅伝に向けて早朝からグラウンドを自主的に走っている子たち。ここにも風に抗いながら前へ前へと進む姿があります。

しかし、自然はシンプルです。強い風に抗いながらも、あまりにも強い時は自転車をこぐのではなく、降りて歩く方が安全です。人間が自然を超えることはできません。どう自分自身をコントロールするか、が大切になります。

**これからの人生には**抗えないこともいっぱい出てくるでしょう。たとえば、進路先一つをとっても、第一希望に進学できない場合は多々あります。第一希望を納得の上で変更していくのもこの時期です。



今、各教科担任は2学期の成績（評定）を決定する時期です。3年生は3者面談を控えており、進路決定も大詰めとなっています。

3者の話し合いを通してよりよい方向が見えてくることを強く願います。

2年生はスキーに向けて動き出しました。学習面では分厚い**5冊の「新研究」**での課題が始まりました。「わたしたち

も使っていた」「なつかしい」と思われる保護者の方も多いのではないのでしょうか。改訂に改定を重ねて使われています。

冬の足音がひたひたと聞こえてきました。3年生にとっては、「**15の春を春にする**」ために、この冬の過ごし方がカギを握ります。「**時には抗え、時には暖まれ**」。「**百折不撓**」の東中3年生。